

## ◆ 建学の精神

# 社会に出て役立つ人間の育成

## ◆ 教育方針

# 実学実践

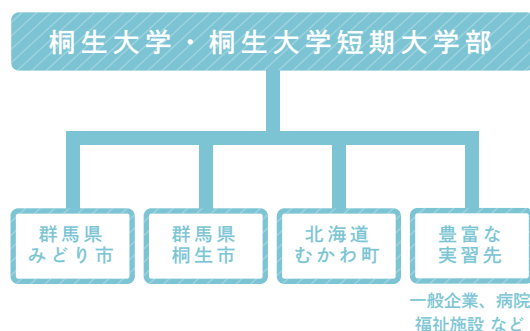
## 医療・食・アートの力で地域を元気に

桐生大学、そして桐生大学短期大学の歴史は、1901年(明治34年)に創設された「桐生裁縫専門女学館」に遡ります。以来、120年にわたるその歴史を通じて、実践的な教育に力を注いできました。その信念を体現しているのが、建学の精神である「社会に出て役立つ人間の育成」です。時代と共に変わる人材ニーズにいち早く対応し、真に社会が求める人材の育成に取り組んでいます。

「地域に根差した教育」も、建学以来の伝統です。教育方針である「実学実践」に基づき、知識や技術を身につけた職業人を地域に送り出すのが使命だと考えています。また、福祉ボランティアや公開講座、スポーツ、文化活動、環境保全など、地域社会と交流するための活動にも力を入れています。

桐生大学と桐生大学短期大学部は、これからも地域と共に歩み、地域に貢献できる人材を育成することに力を注ぎます。

## ◆ 連携



- みどり市 連携協力事業
- 桐生市 連携協力事業

地域との連携協定のもと、本学の学びを生かした豊かな地域づくりに積極的に取り組んでいます。地域の教育活動やイベント参加、福祉ボランティア、近隣の学校・病院・企業とのアートプロジェクトなど、地域社会のあらゆる場面で多くの学生が活躍しています。

- 北海道むかわ町 相互協力協定

町内で発掘された恐竜の全身骨格化石を活用した地域産業の振興を図る北海道むかわ町との協定のもと、本学教員・学生が恐竜など古生物関連のグッズ商品化の企画やアドバイスを通じ、「心に響くデザイン」による地域産業や教育の振興を、授業の一環として行っています。

## ◆ 特長

特長  
1

教員と学生の距離が近い学風。一人ひとりの状況を把握し、きめ細かな対応を重視

特長  
2

演習・実習・フィールドワークなど、実社会で生きる学びを重視したカリキュラム

特長  
3

3つのポリシーに加え本学独自の\*3つのポリシーを定め、教育研究及び学生支援の質の維持向上に努める

※ ①ASSESSMENT POLICY (修学成果評価の方針) ②STUDENT SUPPORT POLICY (学生支援の方針) ③RESEARCH POLICY (研究の方針)